



世代を担う若者達が社会奉仕、国際奉仕部門への参加をすることによって、リーダーシップの育成や相互理解、国際理解を養うことを目的としています。

インターアクトは12～18歳までの男女を対象としたクラブで、殆どのクラブが学校のクラブ活動の1つとして活動しています。当クラブでは、桐光学園インターアクトクラブを提唱していますが、今年度も例年通り、社会奉仕活動として、清掃活動やあしなが募金活動を行いました。

ローターアクトは18～30歳の若者たちが、奉仕活動や交流活動を通じて地域や社会との関り方や、国境を越えた世界の問題を抱えながら、専門的な知識とスキルのレベルアップを目指して活動してゆくクラブです。ローターアクトは自主性を重んじながらも、大学生や社会人になりたての子供達の集まりなので、提唱クラブの責任において、運営からお金の面まで手厚いサポートが必要であると思います。

青少年交換は、2015～16年に台湾で1年間勉強してこられた藤崎由佳さんの卓話があり、ホストファミリーに色々なところに連れて行ってもらったことや、語学学校でスピーチコンテストで賞を頂いたことなど、報告がありました。次年度は当クラブから、熊谷さらさんが青少年交換学生として、一年間タイへ行くことになりました。

ライラは、ロータリークラブや地区が行う若者のためのリーダーシップ要請のプログラムです。ライラのイベントでは、社会人、高校生、大学生を対象として、数日間の合宿の中で、テーマを設けてセミナーやディスカッションが行われます。



## 社会奉仕委員会

渡邊委員長

本年度の活動は9月に桐光学園IACと共に道路の清掃活動を行い終了後、シノワーズで参加者と懇談会を行いました。10月には交通遺児のために新百合ヶ丘駅に於いて桐光学園IACと共同で、あしなが募金を実施しました。12月には青パトの年末防犯活動の一環として、延べ5日間に渡り会員の協力を得て区内の巡回を行いました。4月には例会場にて青パト講習を麻生警察署の方に行って頂きました。

●ニコニコについて 阿久澤委員長のもと、玉井、安藤亨各委員の協力が無理のないニコニコの寄付が頂けたと思っております。例会に出席したらニコニコの寄付をするという良い習慣が会員各位にしみ込んでいると感じました。●環境・保全について 福家委員長と井上勇委員で担当して頂きました。最近、定着してきま

した桐光学園IACの生徒と共に今年も実施する事ができました。いつも同じコースの清掃ですが多くの会員に協力を頂き感謝申し上げます。懇親会では金子会員に大変お世話になりました。●地域発展について 大西委員長のもと、桐光学園IACとともに新百合ヶ丘駅で実施しました。これも定着した活動の1つですが、もっと地域の方を巻き込んでいければと感じました。



第2590地区 鈴木ガバナー補佐

高良ガバナーが第3グループからの選出となっている関係上、地区内の色々なイベントに参加することとなりました。当クラブにおきましてもチャリティーディナーパーティーを担当し、他クラブから高い評価を得ております。

高良ガバナーが一番問題としているのは当地区におきまして20年来ずっと会員が減少していることです。歯止めをかけるために、まずクラブの活性化、魅力あるクラブにすることによって会員になってもらおうとしています。もう1つは社会に対してもロータリーの公共イメージの宣伝をしなければならないということです。今年度の新しい取組として、まずクラブの実態を調査しました。戦略委員会でクラブを活性化するための3年、5年を見据えた継続的な計画を立ててもらいます。ロータリーの魅力は例会に出席して色々な方の卓話を聞けるということです。ロータリアンの中で卓話のできる人を登録して卓話バンクを作りました。プログラム委員長はぜひ利用して頂きたいと思っております。次の新しい取組はRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）です。一方的に話を聞く会ではなく、全員に発言させ、色々な会員・クラブと情報交換する勉強会です。

公共イメージの向上をはかるために2月にポリオ撲滅障害者支援マラソンを開催しました。車いすの方もいる非常にいい大会でした。もう1つは経営大講演会の開催です。ロータリーの職業奉仕の勉強会であると同時に社会に対してのロータリーのPRでした。ガバナー補佐となり第3グループの各グループに平均して7回出席しました。私の見てきたことを次年度以降クラブに反映できたらと思っております。地区の委員長会議が今までは一方的に聞くだけのものが多かったのですが、今年度は必ずディスカッションの場を設けてます。これも新たな取組みであり非常に意義のあるものだと思います。

